

1,1-ジクロロエタン

1,1-Dichloroethane



1. 別名

塩化エチリデン 二塩化エチリデン

2. 性質

液体 無色 クロロホルム臭

分子量； 98.96 比重； 1.174

蒸気密度； 3.41 沸点； 57.3

蒸気圧； 24kPa(蒸気濃度23.7%)

下部引火点； -6 上部引火点； 15

爆発範囲； 5.6 ~ 11.4% 発火温度； 458

溶解性； 難(25 0.5g/100g水)

許容濃度； 日本100ppm

米国100ppm(TWA)

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性； 火災・爆発の危険性あり。

人体への影響； 毒性は塩化メチル、クロロホルムに似ているが、それよりも弱い。局所の刺激作用は極めて強い。

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法(NIOSH)

5. 用途及び発生場所

溶剤(油脂類, ゴム, 合成樹脂など), 抽出剤, ラッカー・ペイントの混合剤, 洗浄剤, 塩化ビニル, エチレンジアミンアンチノック剤などの合成原料, 殺虫剤, 浮遊選鉱剤

6. 関係法令

安衛令(危険物), 消防法(危険物第4類第1石油類), 車両法(危険物, 爆発性液体), 危険物船送則(引火性液体類), IMDGコード・クラス3-2

7. 検知管の適用

